１．指標の設定に関して	課題認識	議題NO.
A．生活実感・行動指標		
● **アンケートの質問項目** Ex.1 「市の情報はわかりやすく、充実している」←**ダブルバーレル質問** 「わかりやすい」ことと「充実している」ことという、２つの判断基準が１つの質問に含まれてしまっている。「わかりやすい」とは思うが「充実している」と思わない回答者は、判断に迷ってしまう。 Ex. 2 「男女が共に個性と能力を十分に発揮している」←**あいまいな質問** 回答する人によって想像するものがバラバラで、回答者次第で結果が変わってしまう。この質問の場合、「職場の管理職の男女比が 1:1 の状態」を想像する人と「育休を申請しやすい状態」を想像する人などが出てきてしまい、質問と回答が直接連動しない。	● **アンケートの質問項目を改善する必要があるのではないか** **ダブルバーレル質問は分割を検討**　Ex.「市の情報はわかりやすい」と「市の情報は充実している」に分ける **あいまいな質問は、定量的に補足可能な質問への見直しが必要ではないか** Ex.「職場の管理職の男女比が 1:1 である」や「自分の職場の育休取得率」といった内容を聞く質問に変更する **以下、同様の指摘は（※）で示す。**	④
● **生活実感や行動に至るまでの道筋** Ex.「身近な水辺に親しみを感じる」 市民が「身近な水辺に親しみを感じる」という状態に至るまでには、「①水辺を知る（認知）→②水辺に行く（行動変容）→③何度か遊ぶ（接触の増加）→④愛着を抱く（価値観の変化）」というステップが考えられる。最初から「実感」についてだけを尋ねてしまうと、どの段階の事業を見直し・充実するのかの判断が難しい。	● **生活実感や行動に至るまでのステップごとに指標を設け、定量的に進捗を測れる質問に再構成できないか…（※）** Ex.指標を構成する事業について、最終的目標である実感や行動に至るまでのフローを作成。そのフローに基づき、「市内の親水公園を知っている」「親水公園に行ったことがある」「親水公園にどれくらいの頻度で行くか」などの段階的な質問を設定することができないか。	
B．　客観指標		
● **客観指標の妥当性に疑問がある指標が混在している。** Ex.「朝市の年間総来場者数」 朝市は屋外イベントのため、荒天の場合は中止になってしまう。実際、花見川区が実施した朝市の来場者は継続的な増加傾向にあるものの、荒天の影響で、「年間総来場者数」が未達成になってしまっていた。 ⇒本来であれば、１回あたりの来場者数の平均値で見るべきでないか。**（来場者数 100 人×10 回＝1000 人＜来場者数 110 人×9 回＝990 人）**	● **客観指標の妥当性について、改めて統計等の専門家による確認が必要ではないか**	③
C．　その他		
● **指標と指標を構成する事業の間に因果関係を明確にすることが非常に難しい** Ex.「身近な水辺に親しみを感じる」という指標を構成する事業が、「稲毛海浜公園の改修」や「谷津田保全活動 NPO への支援」などのみであり、それだけで多くの市民の水辺への親しみが増すとは考えづらい	● **生活実感や行動に至るまでのステップごとに指標を設け、定量的に進捗を測れる質問に再構成できないか…（※）**	

２．目標値の設定に関して	課題認識	議題NO.
A．生活実感・行動指標		
● **生活実感・行動指標の妥当な目標値を定めることが難しい** PR の充実など、対応策を講じたとしても、事業量を２倍にしたからと言って、市民の実感に直結するわけではない。	● **生活実感や行動に至るまでのステップごとに指標を設け、定量的に進捗を測れる質問に再構成できないか…（※）**	③
B．　客観指標		
● **指標の目標値を見直す仕組みがないため、社会情勢や制度改正に対応できない** Ex.「子どもルームの待機児童数」 達成状況：× 計画実施途中より、４年生まで受け入れ対象を拡大したことから、需要が喚起され、指標の達成度が悪化。 ● **目標値の設定にあたって、実現可能性を必ずしも最優先していない** Ex.「自治会の加入率」 達成状況：× 様々な対策を行っているものの、全国的に自治会加入率は下降傾向。しかし、目標値は上昇設定がされている。「チャレンジング」な目標設定をしていることに意義があるという見方もあり、判断が難しい。	● **目標値の修正・変更を行う際の指針を定め、所管部署からの要請に基づき、ある程度の周期で目標値の見直しが組み込めないか** ● **目標値の妥当性を専門分野の有識者等に確認してもらう必要があるのではないか** ● **「チャレンジング」な目標が設定されている指標については、慎重に弁別し、機械的な合算から切り分けることの検討が必要ではないか**	